

平成17年度遠洋漁業関係専門特別部会 報告書

会議責任者	遠洋水産研究所長
-------	----------

- 1 開催日時及び場所 日時 平成17年11月29日13:30～17:45
場所 清水テルサ(静岡市清水区)(別添1:議事次第)
- 2 出席者所属機関及び人数 12機関 26名(別添2:出席者名簿)

3 結果の概要

議 題	結果の概要
・試験研究の実施状況に関すること	遠洋水産研究所3研究部・1研究グループ、水工研、開発調査部、栽培漁業部、6県、日本鯨類研究所、漁業情報サービスセンターから、平成17年度の調査研究の実施概要及び18年度の計画について報告がなされた。
・遠洋水産研究所の中長期的研究開発の取り組みについて	研究所全体の研究開発方針が説明されるとともに各部の方針が資料として配布された。水産業からのニーズを捉えることが重要であるとの確認があったが、特段の議論は無く、今後これらに関する意見を随時求めていくことになった。
・研究成果に関すること	遠洋水産研究所から5課題の研究成果情報が提案され、一部の説明をより判りやすいものに修正した上で、全ての課題を遠洋漁業関係専門特別部会の研究成果情報として本部に報告することとした。
・試験研究のニーズ、連携に関すること	<p>本議題および試験研究の実施上に関する議題において研究ニーズの指摘と連携の必要性が示された。</p> <p>沿岸域を含むわが国周辺水域で重要なクロマグロ資源については遠洋水研で資源評価に加えて生態研究を進めているが、天然での稚仔魚生態研究と栽培漁業部での本種の種苗生産における知見の連携の可能性が指摘された。また、クロマグロの蓄養に関する情報収集が今後国際的にも重要になることが報告され、水産庁に対し統計整備・充実について強い要望が示された。</p> <p>竿釣漁業関係県からカタクチイワシ等に代わる生餌・代替餌料の研究進展に対する期待が示され、本会合の場でも開発調査部、県、栽培漁業部でサバヒーに関する情報の交換が行われた。</p> <p>沿岸でのカツオ漁業が地域産業として重要な地域では、日本周辺海域への来遊状況の研究および沿岸域での漁場形成</p>

	<p>に関する研究へのニーズが高いことが指摘された。遠洋水研の研究対象は中西部太平洋全域での資源状態把握に重点がおかれており、日本周辺海域での研究は漁業情報サービスセンターを中心に各県との連携協力で行う方向で検討する必要性が示された。</p> <p>高度回遊性魚類の資源研究において大規模標識放流の必要性が国際的にも指摘されており、我が国としてもこれへの参画を念頭に各県との連携が必要との認識が示された。一方で、現在も小規模ながら継続して行われている標識放流調査を例に、水研センター内の各部間の連携も、調査の効率的実施に必要であろうとの指摘があった。</p> <p>鯨類に関しては、各県、日本鯨類研究所との連携の下、研究が順調に進められているが、今後さらに、北西太平洋における鯨類餌料調査は海区の有用水産資源が対象となっており、生態系モデル構築に向けて水産研究所の各資源担当との連携強化、遠洋水研の沿岸捕鯨調査における宮城県との連携継続、発展途上国への鯨類調査指導において日本鯨類研究所と遠洋水研の協力、の必要性が指摘された。</p>
<p>・今後の専門部会の運営に関すること</p>	<p>次年度の本特別専門部会は、来年度より横浜に移転する外洋資源部の取り扱う研究にテーマを絞り開催することが提案され、概ね了解された。</p>

平成17年度水産総合研究センター水産業関係試験研究推進会議
遠洋漁業関係専門特別部会
議事次第

日時：平成17年11月29日（火）13：30～17：30

場所：清水テルサ 7階会議室

座長（企画連絡室長）

- 1．開会 企画連絡室長
- 2．主催者挨拶 遠洋水産研究所長
- 3．水産庁挨拶 水産庁研究指導課
- 4．出席者紹介 座長
- 5．資料確認 座長
- 6．試験研究の実施状況に関する事（各研究機関報告）
 - 遠洋水産研究所（3研究部長、1グループ長）
 - 水産工学研究所
 - 開発調査部
 - 栽培漁業部
 - 宮城県水産研究開発センター
 - 神奈川県水産技術センター
 - 静岡県水産試験場
 - 三重県科学技術振興センター水産研究部
 - 高知県水産試験場
 - 宮崎県水産試験場
 - 日本鯨類研究所
 - 漁業情報サービスセンター
 - 東海大学
- 7．遠洋水産研究所の中・長期的研究開発方針について（企画連絡室長）
- 8．試験研究の成果に関する事（研究成果情報）（企画連絡室長）
- 9．試験研究のニーズと具体的な取り組みに関する事（企画連絡室長）
- 10．その他必要と認められる事項に関する事（企画連絡室長）
- 11．閉会

平成 17 年度水産総合研究センター水産業関係試験研究推進会議
遠洋漁業関係専門特別部会出席者名簿

機 関 名	役 職	氏 名
宮城県水産研究開発センター	海洋資源部長	佐々木 良
神奈川県水産技術センター	資源環境部長	高田啓一郎
静岡県水産試験場	漁業開発部長	上村信夫
三重県科学技術振興センター 水産研究部	総括研究員兼研究企画監	中島博司
高知県水産試験場	場長	山本貞夫
宮崎県水産試験場	主任研究員	東 明浩
全国水産高等学校実習船運営協会	事務局	斎藤裕昭
東海大学	海洋学部 教授	田中 彰
日本鯨類研究所	研究部次長	後藤睦夫
漁業情報サービスセンター	会長理事	水谷 宏
漁業情報サービスセンター	事業 2 課長	藤田 真
水産庁 増殖推進部	研究指導課長	重 義行
水産庁 増殖推進部	漁場資源課長補佐	中里 靖
水産総合研究センター本部	研究調査部長	關 哲夫
本部	開発調査部開発調査 2 課長	廣川純夫
本部	栽培漁業部長	福永辰廣
奄美栽培漁業センター	場長	塩澤 聡
水産工学研究所	水産情報工学部長	宮野鼻洋一
遠洋水産研究所	所長	石塚吉生
	企画連絡室長	魚住雄二
	浮魚資源部長	鈴木治郎
	近海かつお・まぐろ資源部長	馬場徳寿
	外洋資源部長	川原重幸
	海洋研究グループ長	稲掛伝三
	総務課長	白鳥高志
	企画連絡科長(事務局)	小倉未基